

# 2012年 インターナショナル・フェスティバル

## 世界から 笑顔がいっぱい あつまった



## どのコーナーも 人・人・人の波

少しだけ雨が心配された幕開けでした。しかしそんなことにはお構いなしに、準備を始める時間からお客さんが来場。各コーナーの販売やイベントが始まる頃には人々の波。不安な天気も吹き飛ばしてしまいました。

世界のお客さまもキルギス共和国大使館、横浜大韓民国総領事館、エジプト・アラブ共和国大使館、エチオピア連合共和国大使館、タンザニア大使館、中華人民共和国大使館からご列席をいただきました。阿部川崎市長、大島川崎市議会議長も参加され、川崎国際交流協会寺尾会長と共に迎えに来たことは嬉しいことでした。

例年にもまして親子連れの参加が目立ち、世界の物産、世界の料理、世界の芸能を堪能した一日でした。(山本)



### 民間団体協議会

2012・7・15

VOL 13

# 各国大使館からご挨拶をいただきました



孫永剛 中華人民共和国  
大使館一等書記官



ローザ・エルクネフ エチオピア  
連邦民主共和国  
大使館二等参事官



セルバイ・ラガブ エジプト・アラブ  
共和国大使館  
文化教育科学局長



横浜大韓民国総領事館  
李壽尊総領事



リスベク・モロドガジエフ  
キルギス共和国大使



大島 明  
川崎市議会議長



阿部 孝夫  
川崎市 市長

## 継続した交流 親交深める

今年の開会式はホールで開催されました。バグパイプ奏者の十亀正司さんが、開会式を指して屋外ステージから観客と共に入場、開会式典前に演奏を行うという流れで始まりました。  
実行委員長の山本忠利の開会宣言に続き、寺尾宇一川崎市国際交流協会会長の主催者挨拶、阿部孝夫川崎市市長、大島明川崎市議会議長のご祝辞をいただきました。  
今年も各国大使館から大きなご協力をいただき、文字どおり華やかで賑やかな国際交流の祭典になりました。



主催者挨拶をする  
寺尾宇一 川崎市  
国際交流協会会長

## 盛会に 開会式

参加出来ることを喜んで話され、共感を呼びました。

開会式に列席された大使館関係者からは、あたたかい心のこもったご挨拶をいただきました。  
キルギス共和国大使館からも、リスベク・モロドガジエフ大使がご家族で参加されました。今回初めての参加となった横浜大韓民国総領事館からは、李壽尊総領事が参加されました。エジプト大使館からは、Dr. M・R・ミセルヒイ参事官が参加されました。エチオピア参事官が参加されました。ローザ・エルクネフ二等参事官が参加されました。中華人民共和国大使館も初めて、孫永剛一等書記官がご家族と共に参加してくださいました。  
それぞれに川崎市との友好を深めることは有意義であること、こうした交流の場に参加出来ることを喜んで話され、共感を呼びました。



開会挨拶をする  
山本忠利  
実行委員長



**ふれあい  
ステージ**

# 本当に熱い思いの ステージでした

多文化活動連絡協議会 浪瀬佳子



小雨模様の当日ではありませんでしたが、レセプションルームの「ふれあいステージ」は本当に熱いステージでした。

独特の楽器を使つてのキルギス民族音楽演奏グループの、静かに流れる音の中で民族の熱い思いが伝わってくる演奏、フィリピンダンスグループの「INRAYOG PHILIPPINES FOLK DANCE TROUPE」の明るくあでやかで華やかなダンス、たまごちゃんのチンが入る「アドゥン」のタイの楽器を使つたポップス。厳かな神への畏敬が伝わる「Suraya」による東インド古典舞踊オリッシ、静かな踊りの中に民族の強さがにじみ出てくる「在日本ラオス協会」のみなさんによるラオスの民族舞踊、そして最後は会場も熱い熱がこもり一緒に踊つた「モカ・エチオピアダンスグループ」によるエチオピアのダンスと踊り。

3時からは、屋外ステージで予定されていた「宝道」のアフリカン・ジャンベや「武蔵野太鼓保存会」の演奏も雨のためレセプションルームでの開催となり、最後の盆踊りまで参加者の熱い熱い暑い思いのこもった場内となり、相互理解と連携を深めることのできた一日となりました。



国際交流センターの交流サロンでは、午前中「中国茶サロン」が開かれました。果して何人が覗いてくれるか、と少々心配でしたが、「美遊茶」の先生が準備した「中国茶器」テーブルの周りにはお客があふれ、順番待ちの子供連れ親子がつめかけ、アシスタントの方もテントコ舞いの忙しさでした。中国大使館の方々が立ち寄られた頃には、愛嬌たっぷりの美人センセイも、汗だくの大賑わいでした。

午後はインドネシア劇団「スミリール」の「ジャワ音楽・舞踊・影絵芝居」。ジャワの伝統楽器ガムランの演奏に乗って、踊る美女2人の艶（あで）やかさ。東南アジア共通の指先までが

## 交流サロンで 中国茶体験と ジャワの影絵

川崎市社交ダンス  
地域インストラクター協会  
松本浩次郎



踊る、しなやかな動きに皆さんウットリ!! リーダーのスマヤントさんの「影絵芝居」の解説にうなずき、影画終了後の子供たちとの人形操作の交流会では、可愛い笑顔と笑いが弾けました。

司会者もインドネシア人ボランテイアの若者、日本のボランティア女子と、国際交流を十分に楽しみました。



# 遊びの広場は 子どもでいっぱい



イベント広場と名付けられた中庭には、子供たちの元気な声が広がりました。今年も子供向けの駄菓子屋さん、ダーツ・射的のゲームのお店、共遊球技の遊び体験、竹とんぼの製作体験と飛ばし体験、シャボン玉をつくる広場など、子供達が遊べる企画がたくさんありました。昨年と同じく太陽光発電の体験もありましたが、太陽が顔を出不さないので、太

陽光で料理は出来ませんでした。でも、集光器はキラキラ輝いていました。この広場の良い所は、芝生が広がり、家族連れで伸び伸び遊べる所でもあること。体験に飽きた子供達は芝生を駆け回っていました。

竹とんぼづくり・ゲーム・駄菓子の買い物など楽しみました



## フロンタ君はどこでも大人気

川崎フロンターレの協力で、今年もフロンタ君が大活躍です。缶吊りなど子供向けゲームもあり人気コーナーでした。





屋 外  
ステージ

## 人垣のなかで楽しい パフォーマンス

武蔵野太鼓  
菅谷吉一

小雨交じりの天気が始まった、今年のフェスティバル、天の神様のご機嫌を伺いながらの進行でした。

パフォーマンスの方たちにしてみれば、昨年の厳しい炎天下とは異なり、多少動き回っても汗が少しにじむ程度で、演技に集中出来たのではないかと思います。

一方、見る側のお客様の動きと反応ですが、日差しが少なかつた為、日差しを避ける必要が無い為か、屋外ステージの周りは入れ替え無しの状態で、人の輪がいつばいで感心の高さを示していました。

今回初めて、ボランティアの方に、司会の一部分を経験していただきました。体験者は、中国人の学生で、日本語の原稿を難なく読みこなしているのに驚きました。

今回のフェスティバルで感じたことは、ボランティアで手伝いに来られる方たちの活躍の場を、もう一歩中に踏み入れました。まして国際交流の場なのですから。



### 多目的広場ではペタンク

鉄の玉を投げるちよつと地味ながら根強い人気の「ペタンク」は、今年も多目的広場で愛好者が競技していました。(フランス発祥の競技)





今年はず年の倍、22店舗、17カ国の出店。小雨模様の日でしたが、大成功でした。当日の開会式前のホールは、住吉小学校のヒップホップダンスが終了すると家族連れのお客さまが一斉に退場し、開会式の時

川崎・プーナ市民友好委員会

井上一枝



世界の料理

の会場は空席が目立ち、残念でした。エコ容器の回収当番は決めてありましたが、どのお店も忘れてしまい、全てボランティアと会社の方にしていたいただきました。来年への反省点ですね。お客さまのエコ容器使用は定着し、エコ容器以外のペットボトル、その他のゴミの回収場所を協会で別に用意されたので、きれいに整理されています。食事処のテントは昨年より大きく設置されていましたが、それでも席が足りなくて通路や植え込みに座って食べていた方が多く、歩くのも大変でした。特にアイスクリームは人気があり、長い行列を作っていました。出店者への許可証の受け渡しですが、件数が多く準備する時間も違っていたので、大変時間がかかりました。次年度の検討事項として保健所の説明会で事前にお渡ししたらどうでしょうか。



世界の言葉が飛び交う部屋

世界のことば

皆様がご参加ありがとうございます。ごさいまし

「川崎エスペラント」でした。

参加団体は「多文化活動連絡協議会・「留学生」・「ヒップホップファミリークラブ」。

【エスペラント講座】は簡単なことばを練習したり、文法を教えていただきました。

【留学生によるかみしばい】では日本語とタガログ語や英語などかみしばいをしていました。留学生が日本語で紙芝居をしている姿はとても素晴らしかったです。

【多言語で絵本の読み聞かせ】では本の展示もあり、気軽に手に取り、見ることができました。そして、多言語で読み聞かせをし、小さな子供から大人も楽しむことができました。

【世界のことばで遊ぼう】では、生バンドの世界の音楽で、多言語でゲームをしたり、留学生の話や海外ホームステイに行った小学生の話をお聞かせしました。

ヒップホップファミリークラブ  
福村 八重



### いつも衰えないフリーマーケットの人気

フリーマーケットはいつも人気です。開場前から入口には人だかりが出来ていて、レコミ、我先にと目玉商品を目指して奪い

合い？ 品物の良さと豊富さで親しまれています。今年も1人で10点以上も詰め込み、買い占めに来たと思われる人もいて、来年は少しは考えて欲しいという意見もありました。

### フリーマーケット



### 世界10カ国の物産で賑わい

世界の物産では、ペルー、タイ、インド、ミャンマー、ロシア、ベトナム、エチオピア、タンザニア、エジプト、キルギスのアクセサリーや衣料品雑貨など、談話ロビーに所狭しと並べられ、国際色豊かな売り場は来場者でこった返っていました。私もロシアの紅茶や民芸品を購入しました。日本フラーワ―紫穂協会の手工芸品を森さんが愛嬌ある声で案内していて、ついつい購入してしまい、楽しい交流になりました。初参加の押し花の先生からは、来年は体験材料を多くもってくるので、ぜひ来年も参加したいとの話しをいただきました。

青蘭流川崎支部 伊藤 紅華



### 魅惑の小ステージ

### 定着した談話ロビー小ステージ

多様な交流の場  
椅子席が好評

川崎郷土研究会  
森本 賢幸

談話ロビーでの小ステージは午前中に(NPO法人コス援護会)によるバルーンアートと留学生による多言語(日本語、韓国語)(日本語、英語)読み聞かせで子ども連れの家族が席を埋めていました。

午後は、十亀正司氏のバグパイプ演奏がものめずらしいらしく好評でした。ラポ国際交流センターの「英語の歌、物語」と、例年通り全員、ゆかた姿のウーロンゴン留学生によるオーストラリアの自然や生活などの紹介に会場の子どもたちも熱心に耳を傾けていました。

ウーロンゴン留学生の発表が予定よりかなり早く終わったため、急遽、中国語の言葉についてのクイズとウーロンゴン留学生による日本語紙芝居も行いました。ウーロンゴン学生の日本語紙芝居には子どもも大人も興味深々でした。彼らには前日、紙芝居を初めて見せて練習しただけと聞いていたましたが、とても上手に読んでいました。

神奈川県青年国際交流機構からの中南米のドミニカ共和国などの滞在・帰国報告等の後、最後は昨年同様、ブラジルの格闘技カポエイラをフィリロス・デ・パウマレスのグループが多勢で演じ、小ステージを終えました。来場者は、年々、会場での滞留時間が長くなっていると感じられます。体験型イベントのみならず、小ステージも椅子席が空くことがあります。



日本伝統工芸「水引」研究会会長  
島崎 蓉子

年々盛大になるフェスティバル。お蔭様で水引工芸も好評の大人気でした！  
席が空くのを待つ子供たちで列ができ、トンボやストラップを作るのに一生懸命の姿は見ていて嬉しくなっています。  
日本の伝統的「手工芸」が次世代に引き継がれていく事が何か責任を果たしている感じがして嬉しいです。  
昨今の水引工芸の業界では作る人が高齢化してコストも高くなっていますし、必然的に海外へ。外国で作られているのし袋等は日本の伝統である水引の本数、色等、伝

# 体験は楽しい



統が簡略化され、購買意欲の湧かない物もありません。  
日本の伝統工芸を守るためにも子供たちにも楽しんでながら、日本の伝統工芸を引き継いでいって欲しいものです。今年より、来年と年々人気が上がるように、これからも日本伝統工芸の普及に全力で邁進してまいります。

青蘭流川崎支部  
伊藤 紅華

事前のチラシ配布が  
大きな流れになった



今年のフェスティバルでは、ふれあい体験と世界の物産コーナーを担当し、情報ロビーでは午前に、いけ花池坊(生け花)、川崎市フラワーデザイン協会(押し花小物作り)、青蘭流川崎支部(フラワーアレンジ)、オスカル(ソーブカービング)をし、初参加の団体もあり各コーナーは子供さんと家族で賑わっていました。  
張東さんのブースでは、いま人気のパンダの絵が来場者の笑顔に繋がっていました。  
今回のフェスティバルは雨模様にもかかわらず大勢の人が参加しました。今回は事前のチラシ・ポスターを多方面に配布・張り出しましたが、そういう地道な取組が大勢の参加に網方ではないかと思う。  
残念なことが一つある。11時からの式典は参加したが、市長と大使の挨拶のあとは席を立つ人が多くいました。開会式は大勢の参加で最後までいて欲しいと思いました。

**受付も頑張りました**





かわさき装芸文化研究会

秋山 房子

七月一日八時半集合！ 実行委員長はじめ関係者らと共に交わす威勢のいい掛け声や挨拶。不思議に、やる気と元気が湧いてくる。ゆかた体験の部屋では、九時半頃からウーロンゴンの留学生を皮切りに、所狭しとゆかたを選ぶ人、汗だくになり髪をまとめ着付けする人のごったがえしています。鏡やカメラの前でポーズをとったり、友人と親子で祭り会場へと流れていく人たちも笑顔です。屋外会場から中庭広場、プロムナード、イベント広場と、様子を見て回りました。

# 伝統文化体験どうもいっぱい

た。どの場所にも国際色豊かな人々で溢れていました。太鼓や踊りの人に交じって、ゆかた姿そのものがお祭りを一層盛り立てるプログラムだと感じました。年々来場者が増えるのも嬉しいことです。準備、後片付けも、ずい分手早く出来るようになりました。来年は、屋外会場などへも、「ゆかた体験」のプラカードなどを持って宣伝してみても・・・と考えました。子供から大人、外国人の方など、およそ一八〇名に着ていただき、今年も楽しく終了することが出来ました。

## 交流体験



みやうち着物学院

佐藤 和子

今年は午後になり雨模様のせい、体験のお客さま数が昨年より少な目でしたが、それでも九時過ぎからオーストラリア・ウーロンゴンの学生さんを筆頭に、日本のガール・ボーイたちもちらんのこと、イギリス・ベルギーのグループの方達、中国のフアミリー、フィリピンのダンサー、フランス人のパパさんと、国際色豊かにゆかたを体験して頂きました。

### 一期一会の七夕茶会

川崎国際交流茶道研究会

長谷川 宗江  
森下 宗禮

梅雨空の一日でしたが、茶席は多くのお客様で終日賑わいました。浴衣を着て茶室でお茶を楽しむ、まさに日本伝統文化のひとつのコラボレーションです。留学生、若いカップル、親子など二四五名の方々に和やかにお茶を楽しんで頂きました。



今回はお菓子やお茶の頂き方など、マナーとしてのお茶を体験して頂き、好評でした。七夕の趣向で短冊を用意し、願い事を書いて頂いたことも昔からある日本伝統文化の体験ができてよかったです。

予想を上回る参加にお菓子や抹茶が足りなくなり、買いに走るなど、嬉しい悲鳴を上げるひとときもありました。「二期一会」、今を今

日を大切に、出会いの素晴らしさに感動した一日でした。社中一同も心を一つに頑張りました。



今年は、スタッフの要望もあり、午前、午後に分け、スケジュールを組み、着付けだけでなく、フェスティバル見学も充実した参加になりました。みやうち着物学院着付師総勢一六名参加。お客さま四三名。ウーロンゴンの学生は七名でした。

# 工夫こらした展示活動 親子で賑わい



エスペラント会  
北川 郁子

展示ロビーの今年の参加団体は、ラポ国際交流センター、日本・ベトナム友好協会川崎支部、ポリスカウト・ガールスカウト中原協議会、多文化活動連絡協議会、グリーンコンシューマグループ/省エネグループ、川崎市地球温暖化防止活動推進センター、川崎エスペラント会、神奈川県青年国際交流機構で、



## 活動展示

「交流の部屋」での、「エスペラント語30分ミニ講座」にも、関心をもっていらした若い方々がいて、終わってからも留学生たちや会員への質問が続き盛り上がっていました。



ラポ国際交流センターは、十代の青年たちがアメリカ・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド・韓国・中国で相互ホームステイする様子を写真で報告し、日頃ラポの子供たちが楽しんでいれる物語・絵本の紹介もしていました。

たくさんの親子連れの方々が展示に足をとめ、絵本を手にとり、話をきいて、小ステージの「英語の歌とおはなしの広場」への参加も多かったようです。

日本・ベトナム友好協会には、ベトナムの見事な漆絵を持ってきてくださった方がいらつしやったり、お客さまが多く、にぎわっていました。川崎エスペラント会の恒例の「エスペラントで集めた世界の楽器展」には、多くの子どもたちや外国人日本人さまさまなかがみえ、実際に音を出したり、触れたりして珍しい楽器の数々を楽しんでいらつしやいました。

り、作ったり、クイズに参加するなどの工夫がなされ、にぎわっていました。

子供連れの若いご夫婦がとくに多かったように思いました。

川崎市地球温暖化防止 活動推進センター・省エネグループ  
竹井 斎

手回し発電機による電球の比較（白熱電球、蛍光灯、LED）により省エネ・節電を呼びかけました。まず子どもが手回し発電機に興味を示し、それに引かれて大人の方にも立ち寄って話を聞いていただくことができました。とにかく人出が多く、大勢の方に 地球温暖化防止を訴えることができました。ありがとうございました。

川崎市地球温暖化防止活動推進センター  
グリーン コンシューマグループ  
竹井 斎

ミックスペーパーとプラスチック等の分別体験と、フェアトレード、地産地消、フードマイレージ、旬などのパネル展示を行いました。家族連れをターゲットにして呼びかけ、子どもも大人も多数参加して下さり、楽しんでいただけたように感じます。今年もインターナショナルフェスティバルに楽しく参加できました。

## 特別企画展



ホールへの出入りの人々が熱心にキャプションを読みながらパネルを見ている姿が印象的でした。これは交流センターのボランティアさんが丁寧にキャプションを翻訳してお陰で、準備に手間暇かけた甲斐があったと実行委員みよりうりに感じました。

また、今年はキルギス共和国とポーランド共和国のご協力により大使館関係の写真展示が実現しました。その他、ブレイメン通り商店街の吹奏楽団のドイツ・ブレイメン市訪問、交流の様子も写真で詳しく紹介しました。

また、本年はキルギス共和国とポーランド共和国のご協力により大使館関係の写真展示が実現しました。その他、ブレイメン通り商店街の吹奏楽団のドイツ・ブレイメン市訪問、交流の様子も写真で詳しく紹介しました。

川崎郷土研究会

森本 賢幸

# ホール ステージ

それは、まさにこれからの国際交流の役目と思いました。ありがとうございました。ありがとうございました。そして皆様にも感謝申し上げます。

また、ステージでの自信に満ち溢れた姿が、夢と希望と感動をみんなに与えること。それらは、まさにこれからの国際交流の役目と思いました。ありがとうございました。ありがとうございました。そして皆様にも感謝申し上げます。

# ホールいっぱい夢と感動

■踊る・歌う・打つ・着飾る9団体が熱演■

日本伝統文化福祉振興協会

上森 恵美子

ホールステージは、新しい参加団体が増え、まさに国際交流が出来たと思っております。毎回、子どもたちのはつらつとした熱意が伝わってくる演技、また、年齢はどこに？とステキなダンス姿、優雅に美しく舞う日本ベトナム友好協会、日舞、まさしく和・洋の伝統文化に魅了されつつ参加団体の皆様に感謝です。

二十五分のステージに九団体の方々が日々練習を重ねた演技を、お客様の前で懸命に披露されている姿は、芸術としか思えません。出演団体の代表が、それぞれ自分達の活動内容を紹介しながら進行することで、私たち担当者もとても助けられました。



今年も昨年と同様、開会式前に、ドラ・コンダ・かわさきキッズと住吉小学校の子どもたちの唄とダンス。特別出演でバグパイプ演奏が行われ、その後、各大使を招いての開会式典が行われました。交流センターはどこもかしこも賑やかです。ごい人でしたが、十二時から開催されたホールの客席も常時、七から八分目の観客でした。和の着付けショーや日本舞踊、殺陣のパフォーマンス、ダンスやベトナムの舞台、子どもたちによる太鼓や民舞など、出演者も子どもから高齢の方まで、各団体、趣向をこらした舞台に、お客さん方から、飽きることなく楽しくまた、落ち着いてゆっくりとして観られましたとの声をいただきました。

日舞扇乃会 藤嶋とみ子



ドラ・コン・ダ  
KAWASAKI KIDS  
千葉 千恵子

子どもたちに話し、書いてもらいました。

今年も楽しいお祭りです、私たちドラ・コン・ダも楽しい一日でした。私たちのステージも拍手をたくさんいただきました。これからも、見に来てくれたお客さんに、笑顔で帰ってもらえるよう元気良く歌って踊って行きたいと思っております。(守藤春香)

たくさんの方がびょうしをしてくれ、とてもうれしかったです。その後は成功して良かったです。楽しく歌っておどる事ができたので満足です。その後、トルコアイスを初めて食べたとき、おもちの味がしておもしろかったです。(佐藤夏美)

フェスティバルでは演奏は楽しく出来たと思います。お客さんも喜んでくれてうれしかったです。(緑川優)

歌が流れ始めた。しんぞうがばくはつし そうなぐらいドキドキした。歌い始めるととても楽しくなった。演奏が終わった後、どっと拍手がおこった。とてもハラハラドキドキしたけど楽しかったです。(星野杏)

お客さんが笑顔になり、手拍子で会場が一つになって盛りあがった。フェスティバルは小さい子供から大人、外国の方など、広いジャンルの方が楽しめるお祭りだと思いました。(梨本楓)



屋外ステージで予定していた宝道のジャンボと武蔵野太鼓は雨でレセプションでの演奏になりました。



# 盆踊り・しせふ・ショムルームで盛りあがりました

日舞扇乃会 藤嶋とみ子

小雨模様になってきたので、急きよ外の広場からレセプションルームに変更になりました。今年は、炭坑節、ビュティフルサンデーと震災復興を願う盆踊りを若仁会の先生の指導のもとで行われました。うちわを持った多勢の子どもたちや近所の町会の人たちも加わり、いろいろな国の人も浴衣姿であでやかに楽しめました。この盆踊りの時間になると、インターナショナル祭がようやく終わりに近づき、皆と力を合わせた楽しかった思い出と共に一抹の郷愁を感じました。

フェスティバルは盆踊りで終わりましたが協賛者から寄せられた景品をじゃんけん大会で子供たちに振舞いました。(写真下)



フェスティバルに協賛して頂きました各企業のみなさま、ありがとうございます



## みなさんの団体の活動をお知らせ下さい

役に立つ機関誌にしたいと思います。みなさんの団体の活動予定、活動した内容のレポートなど、原稿を送ってください。また国際交流体験、協会の企画に参加した感想などでも結構です。紙面を交流の広場にしたいと思います。発行予定は、1月・4月・7月・10月にしたいと思います。6ヶ月先までの予定をなるべくたくさん掲載したいと思います。

### 編集後記

インターナショナル・フェスティバルの色々な企画を写真中心に編集しました。本当に豊富な内容のお祭りになっていて、子供から年輩者まで、外国人も日本人も誰もが楽しめるなああと毎回思います。そして、国際交流協会にふさわしく、世界の料理に舌鼓をうち、世界の言葉が飛び交い、世界の文化を堪能する、このフェスティバルでなければ味わえない独特の良さがあります。ここ数年子供達の参加が増え、お祭りの広がりを感じます。新しい企画、新しい参加者の声もつと紙面にあると良いなあとも思います。来年の課題です。(山本)